

高齢者の安全 取組事例

皇徳寺台東町内会

濱田賢三

皇徳寺台東町内会

皇徳寺団地は鹿児島市の西方に位置し、昭和50年代後半から開発された、新しい団地です。

皇徳寺台東町内会の地域は平成になってから開発がはじまりました。

開発から四半世紀が立ち、高齢化が進みつつあります。

団地内は高低差大きく、坂道や階段が多く、高齢者の移動が困難です。

(日本人_男女計)	世帯数	総人口
皇徳寺台一丁目	386	941
皇徳寺台二丁目	874	2 280
皇徳寺台三丁目	1 207	3 300
計	2 467	6 521

(日本人_男女計)	0～4	5～9	10～14
皇徳寺台一丁目	25	39	32
皇徳寺台二丁目	85	127	124
皇徳寺台三丁目	69	152	236
計	179	318	392
	未就学児・児童・生徒の合計		
		889	

(日本人_男女計)	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59
皇徳寺台一丁目	31	37	46	50	58	40	36	55	119
皇徳寺台二丁目	151	137	124	122	107	120	135	183	264
皇徳寺台三丁目	259	209	134	116	156	223	207	324	284
計	441	383	304	288	321	383	378	562	667
	就労人口の合計								
					3 727				

	60～64	65～69	70～74	75～79
皇徳寺台一丁目	171	100	38	27
皇徳寺台二丁目	234	164	74	35
皇徳寺台三丁目	364	318	106	54
計	769	582	218	116
	高齢者の合計			
			1 685	

(日本人_男女計)	80～84	85～89	90～94	95～99	100～104
皇徳寺台一丁目	13	12	9	3	-
皇徳寺台二丁目	34	39	20	1	-
皇徳寺台三丁目	38	33	14	4	-
計	85	84	43	8	
	後期高齢者の合計				
			220		

町内会の現状

現在、町内会は地域を10の区と88の班に分け活動をしています。

加入世帯は約1350世帯 会員はおよそ5千人。

皇徳寺台東町内会区域図



老化とは？

加齢に伴って生じる不可逆的な全身機能の低下

1、身体的特徴

外的変化： 身長・体重・皮膚・歯牙・頭髪

運動機能： 動作・反射・筋力・持続力・骨量

感覚機能： 視力・聴力・体性感覚

2、精神的機能の特徴

脳における変化： 脳の委縮・脳動脈の硬化

精神的機能： 知能効率、学習効率の低下
記銘力、想起力の低下

3、社会的機能の変化

職業からの引退
経済力の低下
生活圏の縮小
余暇時間の拡大

気力の低下、引きこもり、コミュニケーション不足

町内会の役割

高齢者が活動意欲が持て、多くの人たちと交流
交歓のできる場の企画・提供。

町内会総会での らくらく健康体操の実施





認知症研修会

能が後天的
に低下し日
をきたすよう

第2回 成人学校
「認知症とその家族への対応について」
講師 工藤 福伸 精神科
院長 柳 正剛 先生



は
常に達した認知機能が後天的
障害によって持続的に低下し日
常の社会生活に支障をきたすよう
な状態である。

第2回 成人学級
「認知症と介護・対応について」
講師 三ツ木 昭博 神経外科
院長 柳 正剛 先生







転倒予防のための 料理教室





高齢者見守りマップの作成





防災訓練の実施





TOURSTAGE



消火栓



和牛の旨味は
シメシメと香りと
肉の柔らかさ、噛み



老人会等での茶話会 昼食会



星徳寺台東町内会
お通書クラス 1982年9月





グランドゴルフ大会





大室和





Kagoshima City Safe Community
セーフコミュニティかごしま
高齢者の安全対策委員会
Committee of Elderly Safety

ご清聴ありがとうございました